



# 未来を夢見て Season3

2022/8/18 No. 154

## 夏休みの風景から

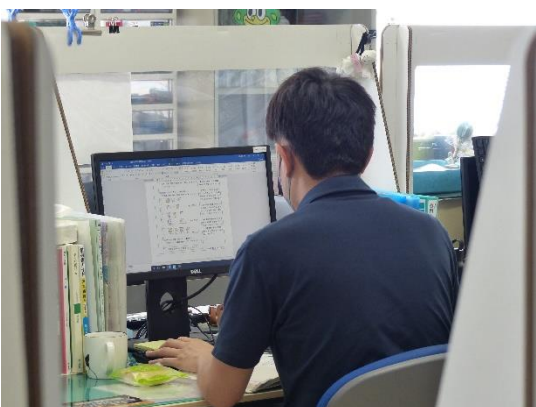
### ～弘済会論文 今年もたくさんの応募ありがとうございました～

8月17日（水）。お盆休み明けの学校は出勤する先生方も少なく静かな一日でした。

そんな中、畑周辺からは、朝から草刈り機で除草する音が聞こえていました。地域コーディネーターの渥美さんが、伸びていた草をきれいに刈ってくださっていました。明日、大学と生涯学習課の視察がある、とのことで、その前に作業を進めてくださっていました。

また、夏休みに入ってから続いていた今野さんと杉本さんのワックスがけの作業もいよいよ佳境に入り、今日は1階をきれいにしてくださっていました。鏡のような美しさで、休み明け登校する子供たちの喜ぶ顔が目につかぶようです。

さて、本日は弘済会論文の校内締め切り日。今年もたくさんの先生方が自主的に論文執筆に取り組んでくださいました。一足早く、読ませていただいたので、タイトルのみ紹介します。



#### 弘済会論文

##### 【学校部門】

- ・読み取る力を育てる国語科指導

(文責 猪股純子)

##### 【個人部門】

- ・小さな世界に興味関心をもつ子供たちを育てる一試み  
(顕微鏡の積極的な使用を通して)

菅原 浩一 教諭

- ・特別支援コーディネーターとして、保護者への啓蒙の在り方  
(おたより「にじいろ」を通して)

二階 美貴 教諭

- ・1年生への積極的生徒指導の一試み  
(心情に寄り添い、語り掛けることを通して)

池山 潤子 教諭

- ・ICTを活用し主体的・対話的に学ぶ児童の育成  
(Google for Education を活用した実践を通して)

佐藤 麻衣 教諭

- ・児童が充実感を感じられる算数科を目指して  
(児童の実態から指導の方向性を探る)

赤坂 勇樹 教諭

- ・自己肯定感を高め、心身ともにたくましい児童の育成  
(心を磨く、心を鍛える活動を通して)

手代木吉之

毎年応募する先生方に交じって、今回は赤坂先生が果敢にチャレンジしました。

初めての挑戦で、「貴重な夏休みの時間」の多くを論文執筆に費やしたと思います。その心意気と姿勢には敬意を表したいと思います。また、論文執筆に関わっていただいた先生方、皆さんお疲れ様でした。

さて、長かった夏休みも、残すところ1週間余りとなりました。ここまで子供たちや先生方に大きなけがや事故がないのが何よりです。まだまだ残暑の厳しい季節が続きますが、少しずつ心と身体を学校モードに戻しつつ、元気に2学期を迎えましょう。

(文責：手代木)